

ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



カラフルで珍しい野菜作りにも取り組む清水さん。手に持っているのは紅、白、緑の3種類のオクラ

▶ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）メンバーの思いや農作物、ネットワークの活動状況、イベント情報などをホームページで発信しています。参加メンバーや応援団となる企業・団体の応募も受け付けています。URLは<https://www.fuku-girl.jp/> 問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。

清水 しみず 亜紀子さん あきこ (湯川村) 自分一人です農決心



女一人、農業を始めて4年。一人住まいで完全一人農業なので、本当に全ての作業が一人きり。種まき、管理、収穫、出荷はもちろん、刈払機での草刈りや、小さなトラクターでの耕運も、下手ながらこなしています。元々は会社員。農業のために脱サラしたわけでも、農家に嫁いだわけでもありません。仕事を辞めて白紙の状態になっていた時、農業研修生の募集を見つけたのがきっかけでした。実家は農家ではないし、農業に強い関心があったわけでもありません。それでも「食べものを作る」という生きることの原点に心引かれ、農業の道に進みました。

「農家の嫁に行けばいいのに」とも言われましたし、雇用で働くこと

も考えましたが、最終的には自分一人で就農しようと決心。足かけ3年、数軒の農家さんでの研修を経たのち、ご縁あって湯川村に住まいが見つかり、畑を借りることができました。2014（平成26）年の春、村で新規就農。化学肥料や農薬、除草剤は一切使わずに、野菜栽培に取り組んでいます。4年目の今も、手が回らさず間引きできなかったり、苗が雑草にのみまれて育たなかったりと、失敗は数知れず。人に笑われることばかりですが、めげてもいられないので、また次の種まきに挑戦！ その繰り返しです。

畑で無心に作業をしている時は、とても幸せな時間に感じます。太陽

が昇り、沈むのを畑で見るとも幸せ。虫も鳥も植物も、全ての生物が懸命に生きていて感じられるのも、畑にいる時です。ただ素直に「私も頑張ろう」と思えます。課題は山積みですが、農業を楽しみながら頑張りたいなと思っています。食卓が少し華やかになるような、カラフルな野菜や珍しい野菜作りに、もっと挑戦したいです。

▼プロフィール▼ 会津若松市出身、湯川村在住。約3・5畝の畑でジャガイモ、ニンジン、玉ねぎなどの定番野菜のほか、ベヒーリーフやスッキーニ、無臭ニンニクなど、年間30種類以上を栽培している。珍しい色の野菜も積極的に作り、「キヨミズ畑」の名前で地元スーパーや道の駅、直売所などで販売している。